

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		中国語ⅠA（演習）C1220 Primary Chinese A				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 赤松 紀彦	
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
本授業は、初めて中国語を学ぶ学生を対象にしたものであり、簡単なスキットと初歩的な文法事項を段階的に学びながら、読む、書く、聞く、話すといった能力を身につけてゆく。この授業では特に発音練習、リスニングを重視し、中国語の運用能力を伸ばしてゆくことを目的とする。文法の授業と連携したかたちで、授業をすすめる。									
[到達目標]									
中国語の発音体系を十分に理解した上で、基本的な中国語の聞き取り能力と表現能力を身につける。中国の首都である北京を舞台としたスキットを題材として、広く中国の文化、更には異文化に対する理解を深める。									
[授業計画と内容]									
最初の2、3回の授業では、まず中国語の表音システムであるピンイン（ローマ字綴り）の学習を通じて中国語の発音体系のあらましを体得する。それに続いて、正確な発音や基本的な聞き取り能力の養成、表現力の習得を目指す。前期は発音編と本文編第十課までを学びながら、特に、基本的な文章をきちんと発音し、また聞き取れるようになることをめざす。原則として1回の授業で1課を学習する。また、フィードバック方法は別途連絡する。 なお、Web上にも教材や練習問題の音声置き、履修生には24時間自由なアクセスを認め、その自学自習を支援する。 本授業は、所定の文法の授業と連携して行われるため、かならずセットで履修しなければならない。この授業だけの履修は認められない。									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
原則として定期試験80%、平常点20%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。 正確に中国語を発音出来ることと、基本的な文型及び語彙の聞き取り能力が評価の基準となる。									
[教科書]									
道坂昭廣 他『中国語の世界 ー 北京2017』（大地社）									
[参考書等]									
（参考書） 詳細な学習方法や、辞書及び参考書については、最初の授業や授業の中で紹介する。									
[授業外学修（予習・復習）等]									
Web上に教材や練習問題の音声置き。24時間自由にアクセスできるので、必ず授業前に発音・聞き取りの練習をしておくこと。また、練習問題が宿題となることもある。必ず復習とともに練習問題等の課題を行うこと。									
[その他（オフィスアワー等）]									
最初の授業において紹介する。									